この事業計画は２０２３年１月８日開催の定期総会で承認されたものです。

２０２３年度の事業計画

１．探鳥会等の実施（予定）

月	浅川・浅川周辺（月例・公開）	浅川・浅川周辺（その他）、【支援】
1	8日（日）・月例 浅川流域冬鳥一斉調査	21日（土）都緑地保全地域一斉調査 【28日（土）ジュニアクラブ野鳥観察支援】
2	12日（日）・月例 北浅川（松枝橋～陵北大橋）	【25日（土）ジュニアクラブ野鳥観察支援】
3	12日（日）・公開 浅川・多摩川合流⇒多摩川石田大橋	18日（土）宇津貫緑の会共催篠刈探鳥会 【25日（土）ジュニアクラブ野鳥観察支援】
4	9日（日）・月例 北浅川（松枝橋～小田野中央公園）	【22日（土）ジュニアクラブ野鳥観察支援】
5	14日（日）・公開 裏高尾（小下沢・オオルリを探す会）	20日（土）都緑地保全地域一斉調査 【27日（土）ジュニアクラブ野鳥観察支援】
6	11日（日）・月例 八王子城跡北、板当・滝の沢林道	【24日（土）ジュニアクラブ野鳥観察支援】
7	9日（日）・月例 醍醐林道（夕焼け小焼けふれあいの里～龍神淵）	
8	13日（日）・月例 高尾山早朝探鳥会	
9	10日（日）・月例 多摩川（石田大橋～中央線鉄橋）	【30日（土）ジュニアクラブ野鳥観察支援】
10	8日（日）・公開 浅川（長沼橋～大和田橋）	【28日（土）ジュニアクラブ野鳥観察支援】
11	12日（日）・月例 多摩川（中央線鉄橋～小宮）	【25日（土）ジュニアクラブ野鳥観察支援】
12	10日（日）・月例 湯殿川（住吉橋～釜土橋）、片倉城跡公園	【16日（土）ジュニアクラブ野鳥観察支援】
1	14日（日） 浅川流域冬鳥一斉調査	【27日（土）ジュニアクラブ野鳥観察支援】
2	11日（日）・月例 北浅川・松枝橋～陵北大橋	【24日（土）ジュニアクラブ野鳥観察支援】
3	10日（日）・公開 浅川・多摩川合流⇒多摩川・石田大橋	【23日（土）ジュニアクラブ野鳥観察支援】

注：これは予定であり、コロナ等の状況も踏まえ、最終的には幹事会で具体的な内容を検討のうえ決定しますので変更もあり得ます。事前に連絡される事務局からの案内にご注意下さい。

月	遠　　出	平　　日
1	16日（月）～20日（金）北海道・札幌周辺探鳥会	12日（木）高尾山周辺探鳥会 25日（水）秋川流域野鳥他生きもの観察
2	4日（土）都市公園探鳥会⑬　栃木・井頭公園	17日（金）高尾山周辺探鳥会 22日（水）秋川流域野鳥他生きもの観察
3	25（土）春のタカの渡り　菜の花台探鳥会	15日（水）高尾山周辺探鳥会 22日（水）秋川流域野鳥他生きもの観察
4	29日（土祝）都市公園⑭　成田市坂田が池公園	11日（火）高尾山周辺探鳥会 19日（水）秋川流域野鳥他生きもの観察
5	23日（火）日の出山 下旬沼田（玉原湿原、玉原高原）	17日（水）秋川流域野鳥他生きもの観察 19日（金）高尾山周辺探鳥会
6	12日（月）～14日（水）秘湯⑬　奥鬼怒温泉 28日（水）富士山（中ノ茶屋～5合目）	1日（木）高尾山周辺探鳥会 21日（水）秋川流域野鳥他生きもの観察
7	26日（水）入笠湿原	5日（水）高尾山周辺探鳥会 19日（水）秋川流域野鳥他生きもの観察
8	上旬北アルプス爺ヶ岳登山2泊 中下旬稲敷市田んぼ	1日（火）高尾山周辺探鳥会 16日（水）秋川流域野鳥他生きもの観察
9	3日（日）三番瀬 5日（火）～7日（木）秘湯⑭立山・みくりが池温泉 30日（土）都市公園⑮多磨霊園探鳥会	13日（水）秋川流域野鳥他生きもの観察 15日（金）高尾山周辺探鳥会
10	13日（金）～17日（火）沖縄本島・粟国島探鳥会	18日（水）秋川流域野鳥他生きもの観察 25日（水）高尾山周辺探鳥会
11	下旬　秘湯⑮ 佐渡のトキと新潟の秘湯	6日（月）高尾山周辺探鳥会 22日（水）秋川流域野鳥他生きもの観察
12	3日（日）葛西臨海公園 31日（日）大晦日探鳥会	13日（水）秋川流域野鳥他生きもの観察 15日（金）高尾山周辺探鳥会 20日（水）昭和記念公園
1	10日（水）相模原・早戸川林道探鳥会	24日（水）秋川流域野鳥他生きもの観察 29日（月）高尾山周辺探鳥会
2	3日（土）都市公園⑯　場所未定	21日（水）秋川流域野鳥他生きもの観察 27日（火）高尾山周辺探鳥会
3	30日（土）　春のタカの渡り　菜の花台探鳥会	14日（木）高尾山周辺探鳥会 22日（水）秋川流域野鳥他生きもの観察

注：①この他にも希望があれば、実施しますので随時幹事あてに希望地をご連絡下さい。
注：②この他に会員企画の探鳥会を随時実施しますので積極的に企画して下さい。探鳥会を企画する会員は以下の内容の「探鳥会計画」を3ヶ月前までに事務局(佐藤哲郎)に送って下さい。毎月発行の「探鳥会あんない」に掲載され、傷害保険の対象になります。1. 行先　2. 探鳥会実施月日　3. 集合場所と集合時刻　4. 見所　5. コース　6. 持参品　7. 雨天対応　8. 問合せ先（担当者）

２．定期カウント実施場所

〔１〕浅川（松竹公園西⇔陵北大橋）
〔２〕　〃　（陵北大橋⇔松枝橋）
〔３〕　〃　（松枝橋⇔鶴巻橋）
〔４〕　〃　（鶴巻橋⇔大和田橋）
〔５〕　〃　（大和田橋⇔長沼橋）
〔６〕　〃　（長沼橋⇔一番橋）
〔7-1〕　〃（一番橋⇔ふれあい橋）
〔7-2〕　〃（ふれあい橋⇔多摩川合流）
〔８〕川口川（川口橋⇔明治橋）
〔９〕湯殿川（白旗橋⇔時田大橋）
〔10〕多摩川（滝山城跡下）
〔11〕　〃　（谷地川合流付近）
〔12〕　〃　（浅川合流付近）
〔13〕小宮公園
〔14〕片倉城跡公園・湯殿川
〔15〕長沼公園
〔16〕高尾山（小仏川）
〔17〕高尾山（蛇滝→１号路）
〔18〕　〃　（琵琶滝→３号路）
〔19〕　〃　（大垂水）
〔20〕　〃　（日影沢、小仏城山）

（お願い）各地点別にここに掲げる担当者を中心に会員同士誘い合い、毎月ミニ探鳥会のような形でカウントして下さい（担当者はカウント担当地区付近の会員に、一般会員は参加したい地区の担当者にお互いに声をかけて参加して下さい）。

３．各種調査活動

［１］冬鳥一斉調査（１月８日、浅川本支流、谷地川、程久保川）
［２］多摩川のカモを中心とした越冬鳥調査（１月、多摩川４コース）
［３］カルガモ繁殖調査（５～７月、浅川流域、谷地川流域、程久保流域、大栗川流域）
［４］イワツバメ営巣調査（５～７月、浅川流域、谷地川流域、程久保流域、大栗川流域）
［５］オオルリ他夏鳥生息調査（４～６月、八王子市内丘陵部・山間部全域）
［６］巣箱利用状況調査（片倉城跡公園、年間、１２月清掃）
［７］我が家の庭に来る野鳥調査（年間、会員の自宅の庭）
［８］サシバ等秋の渡り調査（９～１０月、松竹公園西他、他の団体とも協力）
［９］ツバメの集団ねぐら調査
［10］ツバメ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイの集団ねぐら調査
［11］緑地の保全地域における野鳥の生息調査
（繁殖期・渡り鳥の春季通過期４～7 月、越冬期 12～３月）
［12］イソヒヨドリ繁殖調査
［13］長沼駅ヒメアマツバメ巣の調査
［14］清水入緑地長池公園野鳥カウント調査

［15］宇津貫丘陵、宇津貫緑地野鳥調査（宇津貫みどりの会と共催、７・８月を除く月１回）
［16］上柚木公園野鳥調査（繁殖期と越冬期）

特記：［９］ツバメ集団ねぐら調査と［13］ 長沼駅ヒメアマツバメ巣の調査は NPO 東京生物多様性センターと共同で実施する。

４．浅川流域の鳥信（情報）の収集

八王子市内、日野市内の「鳥等の情報（下記の１～9 の内容）」を会員から収集して、野鳥記録を蓄積します。①鳥名、②観察年月日、③出現場所（出来るだけ具体的に詳しく）、④羽数、⑤♂♀成若幼等、⑥行動（何をしていたか）、⑥その鳥の識別理由、⑦周りの他の鳥との比較、⑧観察者氏名等を分かる範囲で記録して下さい。①～⑧の全てが満たされなくてもかまいません。気楽に粕谷宛に、メモ用紙、はがき(192-0074、天神町３－６)、ｅメール(kasuya.kazuo688@gmail.com)でお送り下さい。

なお、八王子・日野市外でも両市の境界付近の情報は参考資料という位置づけで受付ける。

集まった情報は、会報「かわせみ」の鳥信欄に載せるとともに、過去のデータと合わせて、浅川流域の野鳥データベースに追加する。

【鳥等の情報の内容】

1 希少（特に定義はありませんが、アオバズク、アカショウビン、ヤマセミ等希少と思われる鳥、注１参照）
2 初認（渡り鳥や漂鳥の当該年に最初の記録、留鳥ウグイスの当該年の初さえずり等）
3 終認（渡り鳥や漂鳥の当該年に最後と思われる観察の記録）
4 通過（アマサギ、キアシシギ、アマツバメ等一時的に観察される鳥）
5 繁殖（注２の基準を適用）
6 行動（野鳥の様々の行動、注１参照）
7 ねぐら（ツバメ、ムクドリ、ハクセキレイ、スズメ、カラス等の集団ねぐら）
8 外来種（コジュケイ、カワラバト（ドバト）、ガビチョウ、ソウシチョウ等）
9 その他（野鳥の密猟や飼育の記録、野鳥の死体、野鳥の交通事故、ガラス衝突事故、防鳥網事故等、鳥以外の環境指標的な動物）

注１　「1 希少」と「6 行動」のどちらにするかの厳密が定義はなく、今までの「仕分け」を踏襲して事務局が判断します。

注２　「5 繁殖」には以下に示す 5 段階の基準があります。この基準は 1998 年東京都環境保全局が日本野鳥の会研究センターに委託して行った野鳥の繁殖状況調査時の基準で、カワセミ会の鳥信ではこの基準を踏襲しています。

繁殖期における野鳥の繁殖段階基準

ﾗﾝｸ	基準	観察事項
5	確実に繁殖	①雛のいる巣、②巣と卵、③成鳥が使用されている巣のあるらしい所に出入り、④成鳥の糞運び、⑤巣立ち直後の雛、⑥巣立ち直後の巣の発見、⑦偽傷
4	多分繁殖している	①成鳥のエサ運び、②巣立ち雛連れ家族群、③造巣行動、④巣のあると思われる所にいた、⑤求愛行動、交尾行動、威嚇行動、警戒音、⑥繁殖期、営巣し得る環境で、数日以上の間隔をおき、同じ場所でさえずり
3	繁殖の可能性あり	営巣しそうな場所で、繁殖期に鳥を認めたが、他には徴候が認められない
2	繁殖不明	繁殖期に鳥の姿を見たが何ともいえない
1	繁殖しないを可とする	繁殖期に鳥の姿を見たが、営巣していないこと明らか

【フォト鳥信の収集と公開】

上記鳥信のうち、証拠写真の添付が可能のものについては、別途「フォト鳥信」を運用します。

「フォト鳥信」はカワセミ会会員専用のＨＰに掲示板方式で開設し、そのうちから公開可能なものを概ね２ヶ月後にカワセミ会ＨＰ（一般向け）にアップする。

投稿方法は以下のとおりです。カワセミ会ＨＰを立ち上げ「会員専用のページ（パスワード必要）」を開き、「フォト鳥信」ボタンをクリックして下さい。「フォト鳥信」の掲示版を開くと、件名、種名、観察年月日、羽数、場所、区分、メッシュ、コメントの項目がありますので、必要事項を書き込んで投稿して下さい。同一ファイルの写真は４枚まで添付できます。

従来からやっている「鳥信」は従来とおり継続しますが、「フォト鳥信」に投稿したものは、内容が重複ので、「鳥信」の方に投稿する必要が無くなります。多くの会員の皆様から「フォト鳥信」への投稿を期待します。なお、野鳥の繁殖に悪影響が大きいと思われるもの、野鳥の行動に悪影響をおよぼして撮ったと思われるものや八王子市、日野市以外の場所で撮ったものは投稿しないようにお願いしますが、両市の境界付近の情報は参考資料という位置づけで受付ける。

５．野鳥保護活動、催物、その他

［１］当会の総会（１月８日、八王子学園都市センター第１セミナー室）

［２］他団体、小中学校等の野鳥観察の支援、指導

小中学校等の野鳥観察の支援には八王子市環境部環境政策課発行の「八王子市環境教育プログラムガイドブック」が活用される。

［３］カワセミ会ジュニアクラブの活動の支援

［４］野鳥勉強会・会報「かわせみ」配布会　３月上旬

［５］野鳥勉強会・会報「かわせみ」配布会　９月上旬

［６］野鳥の密猟対策、その他の野鳥保護活動

［７］八王子環境フェスタ（6 月開催）に参加

［８］多摩森林科学園鳥類標識調査に支援参加

2023 年度も毎月１回の調査の支援を行い、調査結果については会報「かわせみ」で報告する。

［９］浅川における多自然型川作りの等に他団体と協力して参加

［10］日野市カワセミハウス環境パネル展に出展

2023 年度は「スズメ、ムクドリの集団ねぐら」を予定

［11］第 58 回 東京都公園協会賞へ応募（3 月）

論文部門・実施記録及び報告部門で、「八王子市内の都市公園（小宮公園、長沼公園、片倉城跡公園）における 30 年間の野鳥定期カウント調査からみられる野鳥の経年変動と都市公園の役割」を応募する。

［12］TAKAO599MUSEUM でカワセミ会パネル展

1 月 23 日～2 月 5 日に TAKAO599MUSEUM とカワセミ会の共催で、同館で展示会を実施する。

［13］サシバ等タカの渡り調査参加手引書の発行

作成委員会で検討を進め、A４サイズの冊子を２０２３年６月頃までに作成する。データはカワセミ会の HP にアップし、会員が必要に応じて閲覧又はダウンロード（プリントアウト）できる形式とする。

［14］Web 野鳥図鑑の更新・拡充

現在カワセミ会 HP に掲載されている Web 野鳥図鑑を全面的に見直し、デザイン、内容を刷新する。検討、更新作業は Web 野鳥図鑑拡充委員会（５名）で行う。

［15］カワセミ会 40 周年事業の検討を開始

カワセミ会は 2025 年に創立 40 周年を迎える。2023 年より周年事業の検討を開始する。

６．会報の発行

［1］かわせみ第７０号（3月）
［2］かわせみ第７１号（9月）
（お願い）会員各位の積極的な原稿提出（投稿）を浜野建男編集長宛にお願いする。

７．「探鳥会あんない」の発行

２０２３年度も前年度同様、原則として毎月第２日曜日（月例探鳥会開催日）に「探鳥会あんない」の発行（月例探鳥会での手渡し、メール配信、HP掲載、封書の郵送）を行う。会報「かわせみ」発行月には、会報に探鳥会あんないを同封するため、発行日が第２日曜日から変更されることもある。

８．インターネットホームページ

カワセミ会の活動記録を公開するするとともに、2021 年に新たに設置した公式ツイッターも活用してカワセミ会の活動を広く発信していきたい。

９．カワセミ会メーリングリスト（ＭＬ）の運営

メーリングリスト(Mailing List)とは、電子メールを使ったインターネット活用法の一つで、複数の人に同じメールを配送できる仕組みです。カワセミ会のメーリングリスト（アドレス：hh-kawasemi@googlegroupes.com）では、鳥信、調査報告、調査・探鳥会・野鳥観察支援の案内、鳥関係の情報提供、カワセミ会ホームページ掲示板の投稿情報、その他の連絡等が発信されます。

新年度も引き続き同様に運用しますが、カワセミ会メーリングリストは、なるべく多くの会員の参加をお待ちしています。なお、様々な受信環境（PC と携帯の違い、OS の違い、登載ソフトの違い、従量課金の有無など）の方がおられることから添付ファイル及びHTML 形式のメールは一切禁止です。また、会員への情報共有が目的であるため、個人的な意味合いの強いメールは送信しないようご注意ください。ML に配信されたメールに、つい個人的に返信してしまう方がおられますが、宛先を個人アドレスに変更下さるようお願いします。

登録希望者および登録アドレスを変更される場合は、事務局にメールしてください。また、登録アドレスを変更される方は、旧アドレスと新アドレスの両方をお知らせ下さい。（新アドレスだけでなく、確認のため旧アドレスも明記して下さい。）

また、メーリングリストからの退会は、本人が行う事が可能ですが、名簿管理の都合上、勝手に退会せず、必ず事務局まで退会を連絡下さいますようお願いします。

事務局メールアドレス　：　佐藤哲郎　tetsat@gb3.so-net.ne.jp

１０．八王子市、日野市で観察される野鳥の認定委員会

平成２７(2015)年より、「八王子市、日野市で観察される野鳥の認定委員会」を設置して、別頁に掲げる認定委員会設置要領とその手順により、同定を明確にするようにしている。同定依頼の際には、できるだけ複数枚の画像と要項に従った具体的な観察記録の提出をお願いします。鳴き声の音声データや拾得した羽根による同定も受け付けます。今後も「いわゆる希少種」に限らず、同定に関する質問については、委員会として、できるだけ対応していきますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

１１．八王子市・日野市鳥類目録のフォロー委員会

平成２８（2016）年１２月に発行した「八王子市・日野市鳥類目録」の今後の改訂に向けてのフォローを行うために、平成３１（2019）年に委員会が設置された。目録に記載されていない初記録の種（亜種）や生息状況の変化により記載内容の見直しが必要と思われる種（亜種）等の観察記録を収集し、暫定的に目録の記載内容の改訂を行っていく予定です。この委員会は「八王子市、日野市で観察される野鳥の認定委員会」とも密接な連携をもって運営します。八王子・日野カワセミ会の「鳥信」以外に、出版物やネットからの情報、会員以外の私信等、幅広く情報を集めていますので、ご協力の程、よろしくお願いします。